

いわた 文化財だより 第257号

磐田市スポーツ文化観光部文化財課 令和8年8月1日発行

目次

- 向陽学府内の古墳を6基調査しました！ ・ P1～2
- 文化財を継承する ・ ・ ・ ・ ・ P3
- しずおかの原像をさぐる 開催！ ・ ・ ・ ・ ・ P4
- コラム「古文書とデジタル化」 笹竹希美 ・ ・ ・ P4

向陽学府内の古墳を6基調査しました！ ～中原B古墳群の発掘調査～

向陽学府小中一体校の整備事業に伴い、令和7年6月から令和8年3月にかけて向陽中学校敷地内で行った発掘調査とその調査成果を紹介します。

中原B古墳群とは

磐田原台地東縁部に位置する中原B古墳群は、12基の古墳で構成された、向陽学府一帯に広がる遺跡です。周辺にはこのほかに中原A古墳群や中原C古墳群などがあり、直径10m程度の古墳が多く築かれた地域です。

今回の調査で見つかった古墳

発掘調査した古墳（6～9、12・13号墳）は古墳時代後期から終末期にかけての群集墳でした。古墳時代後期に出現する群集墳は、直径10m前後の小規模古墳が同時期に密集して造られる古墳群です。これらの古墳にはムラの有力者等が葬られたと考えられています。

見つかった古墳の埋葬施設は横穴式石室と横穴式木室の2種類がありました。また、築造順は7号墳と9号墳のあとに6号墳が築かれ、9号墳は7世紀始め頃に造られていました。このほか、12号墳は8世紀には築造されていたことが分かりました。

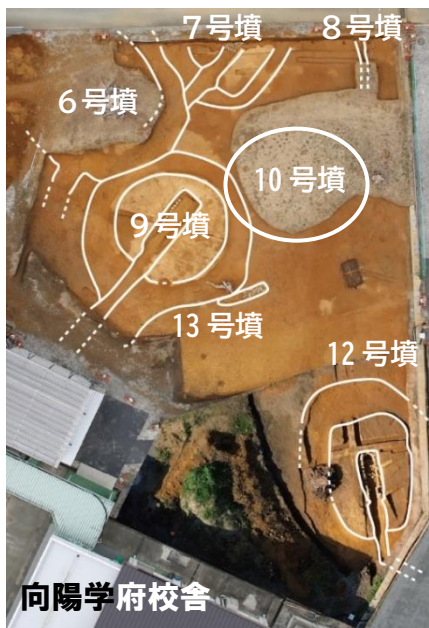
なお、6・10号墳の墳丘は学校整備には影響が無いと現地に保存されます。



中原B古墳群の周辺



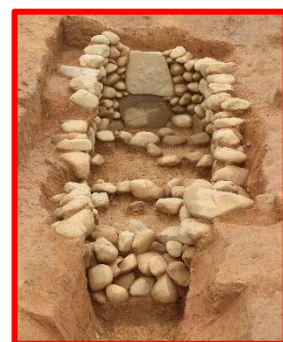
調査区（南東から）



向陽学府校舎



9号墳の横穴式石室



12号墳の横穴式石室



7号墳の横穴式木室



13号墳の横穴式木室

発掘調査区の空中写真

古墳からの出土品

12号墳

石室の入口前面からは、副葬品として供えられた須恵器^{すえき}が出土しました。洗浄し、破片同士を接合したところ、古墳時代終末期～奈良時代^{つぎみ つぎふた}ごろの長頸壺と坏身・坏蓋（食べものを盛るための器）だと分かりました。



土器が出土した様子



出土した須恵器
右上の壺 高さ約 22 cm

9号墳

7世紀前半の須恵器が古墳の周溝から出土したほか、石室の床面からは耳環^{じかん}（耳飾り）などが出土しました。

調査現場で記録した図面や写真などの整理や、調査で見つかった土器などの接合と復元作業などを進めていき、中原B古墳群がどのような遺跡であったのか調べていきます。

©磐田市



耳環の出土位置
（写真奥が入口、赤丸が耳環の出土場所）

出土した耳環
長さ約 3 cm

内覧会で発掘調査成果を紹介

向陽学府の校舎完成に伴って行われた内覧会では、今回の調査で見つかった石室の写真や出土品を展示して、発掘調査成果を紹介しました。

このほかに、向陽中学校の生徒を対象に発掘調査現場の見学や調査成果を知ってもらう特別授業を行いました。



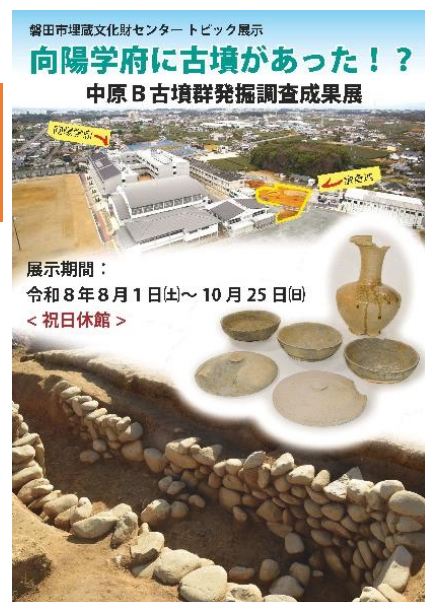
内覧会での展示の様子

センター初展示！

向陽学府に古墳があった！ 中原B古墳群発掘調査成果展を開催します

埋蔵文化財センターのトピック展示で、今回紹介した古墳からの出土品を陳列します。ぜひ、向陽学府から見つかった出土品を会場でご覧ください。

- 場所 磐田市埋蔵文化財センター
トピック展示コーナー（磐田市見付 3678-1）
- 期間 8月1日（土）～10月25日（日）※国民の祝日は休館
- 時間 午前8時30分～午後5時





文化財を継承する

ふじのくに文化財保存・活用推進団体の紹介③

文化財を守り、将来に継承していく上で、地域の方々の協力は不可欠です。静岡県では、令和2年度から文化財の保存・活用に取り組む民間団体を『ふじのくに文化財保存・活用推進団体』として認定しています。このシリーズでは、磐田市内で活躍する11の認定団体をシリーズで紹介します。

■みんなと倶楽部・掛塚（平成28年設立/令和2年度認定）



見学会の様子

掛塚で廻船問屋を営んだ商家の住宅である旧津倉家住宅（登録有形文化財）の管理や、見学会、街歩きイベントなどの開催をしています。

地域にある文化財を守り、後世に引き継いでいけるよう、また掛塚地区が活気のあるまちになるために、広報誌とホームページにて旧津倉家住宅だけでなく掛塚の歴史や文化の周知活動をしています。



ホームページ

■田原歴史愛好会

（昭和61年設立/令和4年度認定）

地域の歴史や文化財をまとめた印刷物の発行・頒布をしています。また、田原交流センター、田原小学校と連携して「ふるさとカルタ」の制作やカルタ大会を開催し、地域への愛着や歴史文化への興味関心を深めるきっかけとなる活動をしています。



ふるさとカルタ

そのほか、旧東海道や古墳などのガイドを通して、地域の魅力を発信しています。（カルタは磐田市立中央図書館にて貸出もしています）



■向笠史談会（昭和54年設立/令和5年度認定）

向笠交流センターで月1回定例会を開催し、地区の歴史の学習やイベントを開催しています。また、交流センターと協働して、向笠地区内のみどころを案内するウォークイベントを開催しています。地区内のみどころの案内看板を作成し維持管理につとめているほか、「向笠史跡のしおり」を刊行し、情報発信をしています。

（しおりは磐田市立図書館にて貸出もしています）



ふじのくに文化財保存・活用推進団体の制度、市外の認定団体等について、詳しくは右二次元コードからご覧ください。

県主催 令和8年度遺跡調査報告会

しずおかの原像をさぐる 開催！

静岡県及び、県内市町が近年発掘調査した遺跡を取り上げ、調査成果を分かりやすく報告します。

日時 8月22日（土） 開場 13:00 開始 13:30 終了 16:00

会場 磐田市立中央図書館 2階 視聴覚ホール（磐田市見付 3599-5）

定員 当日先着 100人（申込み不要／参加無料）※お車で越しの場合は
JA 遠州中央本店 第2駐車場へ

内容 報告1 伊豆石採掘跡の調査 下田市敷根石丁場遺跡

報告2 竪穴式石室の調査 三島市向山古墳群第16号墳

報告3 東海地方最大級の円墳 磐田市兜塚古墳

報告4 富士市須津千人塚古墳と百済ゆかりの金銅製帯金具

イベントのお問合せは
静岡県埋蔵文化財センター
（054-385-5500）まで！



関連イベント

しっぺいバスでめぐる兜塚古墳見学ツアー 同日開催！

日程 10:00 JR 磐田駅南口集合→10:25 兜塚古墳見学（約30分）→11:05 中央図書館着
→11:10 中央図書館発→11:25 JR 磐田駅着

定員 先着 30人（要申込み／参加無料）

申込 8月3日（月）12:00 から電子申請にて受付開始

→ 申込はこちら



職員リレー コラム

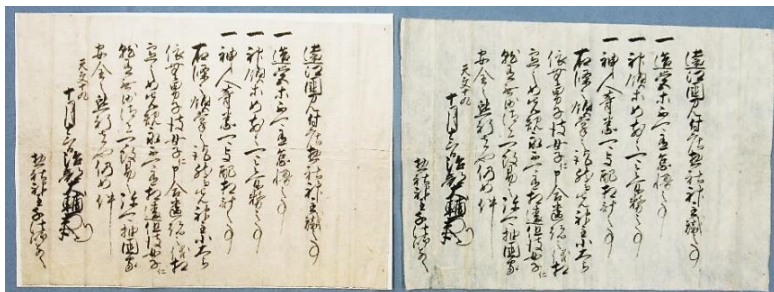
古文書とデジタル化

笹竹 希美

現在、歴史文書館（竜洋支所）2階では「史料を遺す～古文書とデジタル化～」を開催中です。デジタル化とは、資料をカメラで撮影しデータ化することで、資料の保護や利活用につなげることができます。

今回の展示では、すべての資料ではありませんが、原寸サイズに印刷したものを展示しています。古文書や絵図の実際の大きさは写真ではわかりません。特に実際の絵図はとて大きいものが多く、写真とでは違った印象をうけます。また、本物の資料は資料保護のため長期間展示することができませんが、デジタル化したものを印刷し、展示することで資料保護と展示を両立することができます。

9月30日まで、平日9時～17時に入場無料でご覧いただけます。ぜひ、展示室で実際の大きさと共にデジタル化の成果を見ていただきたいと思います。



デジタル化し、印刷した史料 原本（今回は展示していません）

編集後記 文化財課の一大イベント、企画展がいよいよスタートしました！ 今年のテーマはイワタの巨大古墳です。ぜひ中央図書館展示室へお越しくださいませ。

発行：磐田市スポーツ文化観光部
文化財課（磐田市埋蔵文化財センター）
住所：〒438-0086 磐田市見付 3678-1
電話：0538-32-9699

◆WEB版は市HPから閲覧できます。磐田 文化財だより



検索